



<https://okinawa-cellular.jp/>

Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless

沖縄セルラー

**個人投資家さま向け
説明会資料**

STOCK CODE : 9436

1

沖縄セルラーとは

2

中期経営計画 (22年度-24年度)

3

株主還元



1

沖縄セルラーとは

2

中期経営計画 (22年度-24年度)

3

株主還元

会社概要

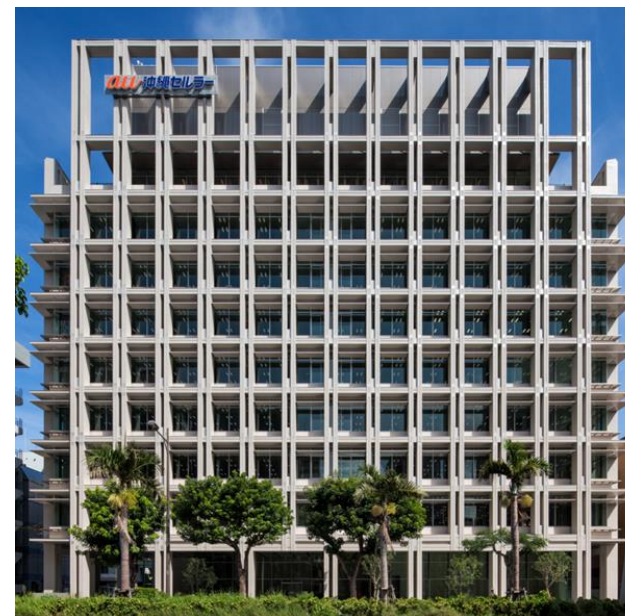
商号	沖縄セルラー電話株式会社
創業	1991年6月1日
所在地	沖縄県那覇市松山1-2-1
主要株主*1	KDDI株式会社 51.1%
資本金	14億14百万円
従業員数*2	439人
証券コード	9436

*1 23年9月時点

*2 連結ベース。23年3月時点

Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

代表取締役社長
すが たかし
菅 隆志



沿革

■ 1991年6月

KDDI（旧第二電電）をはじめ**県内有力企業の出資**により誕生
翌年10月に携帯電話サービス開始



■ 2010年1月

OTNet（旧沖縄通信ネットワーク）を子会社化
FTTHサービスを3月提供開始
モバイルとFTTHを提供する県内唯一の**総合通信事業者**となる

■ 2019年11月

沖縄電力と業務提携し一般家庭向け電力供給事業の「**auでんき**」
サービス提供開始



「沖縄のために」という声から生まれた
沖縄のための総合通信事業の会社

経営の理念

1. 事業を通して、沖縄経済の発展に貢献すること。
1. 公共性の高いことに鑑みて
県民から親しみと尊敬に値する企業になること。
1. 社員の物心両面での幸福を追求すること。
1. 沖縄県の名実ともにトップ企業になること。



沖縄セルラーサマリ

23年3月末時点

強固な財務基盤と高い収益性を両立

総資産額	1,196億円	発行済 株式総数*2	49,222千株
純資産額	1,011億円	時価総額*3	1,752億円
自己資本比率	82.6%	PBR	1.85倍
営業収益	772億円	株価*3	3,560円
当期純利益*1	108億円	1株当たりの 配当金*4	100円
EPS	204円	配当性向*4	41.3%
ROE	11.1%	配当利回り*3	2.81%

*1：親会社株主に帰属する当期純利益 *2：2023年12月末時点 *3：2024年3月4日終値ベース *4：2024年3月期予想

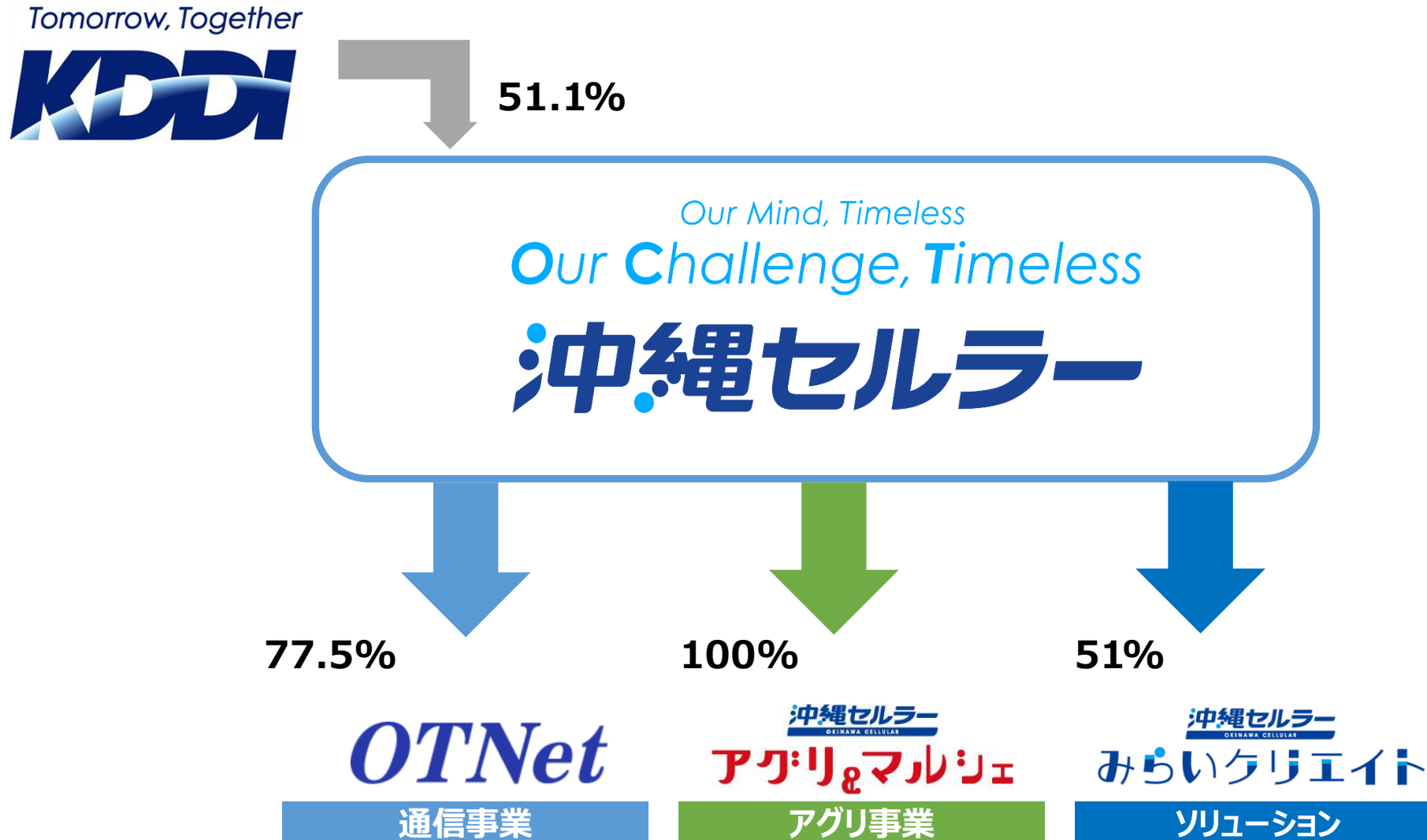
株価の推移

2024年1月16日 新高値更新：**3,700円**

株価チャート（10年分）



沖縄セルラーグループ体制図



沖縄セルラー 事業概要

主軸となる通信事業

モバイル

au

UQ mobile

povo

FTTH

au ひかり ちゅら

ひかりゆいまーる

成長領域

au でんき

ソリューション事業

沖縄セルラー
OKINAWA CELLULAR
アグリ&マルシェ

ヘルスケア

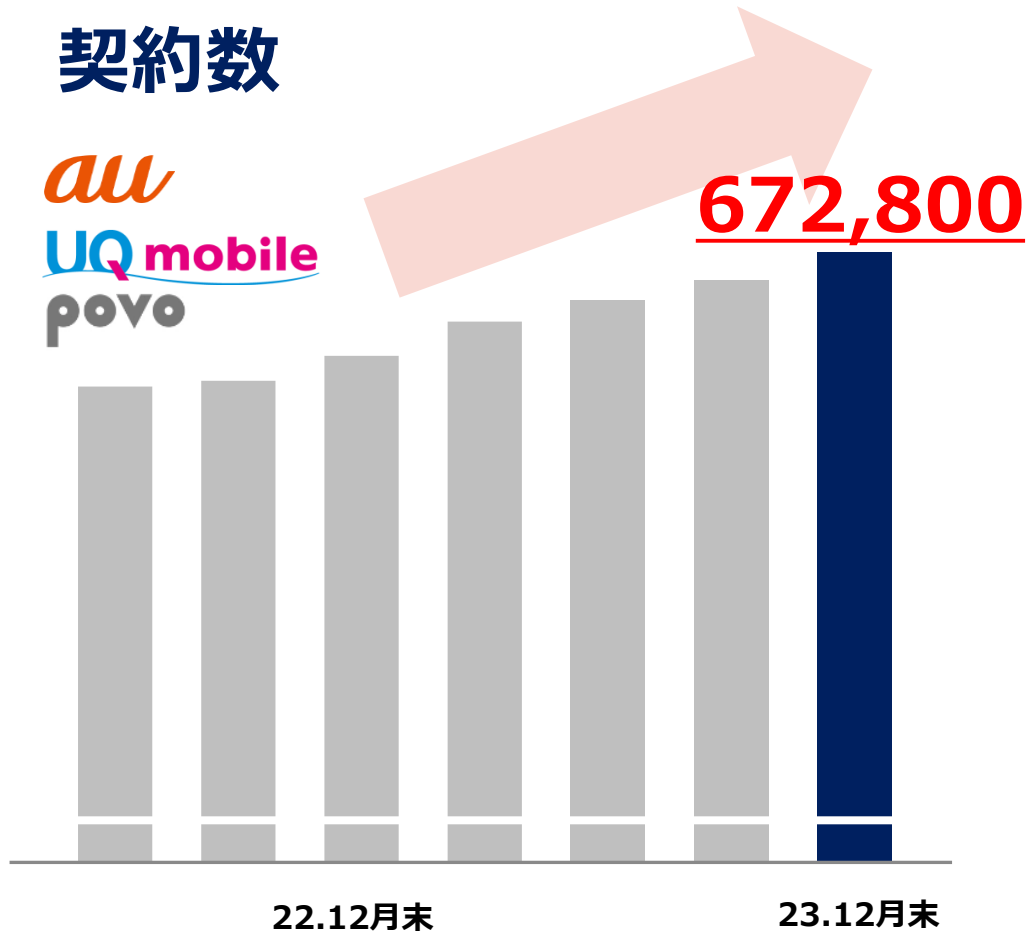
うちなーんちゅのための 健康サポートアプリ
JOI ホーグドクター

通信を軸に多彩なサービスを提供

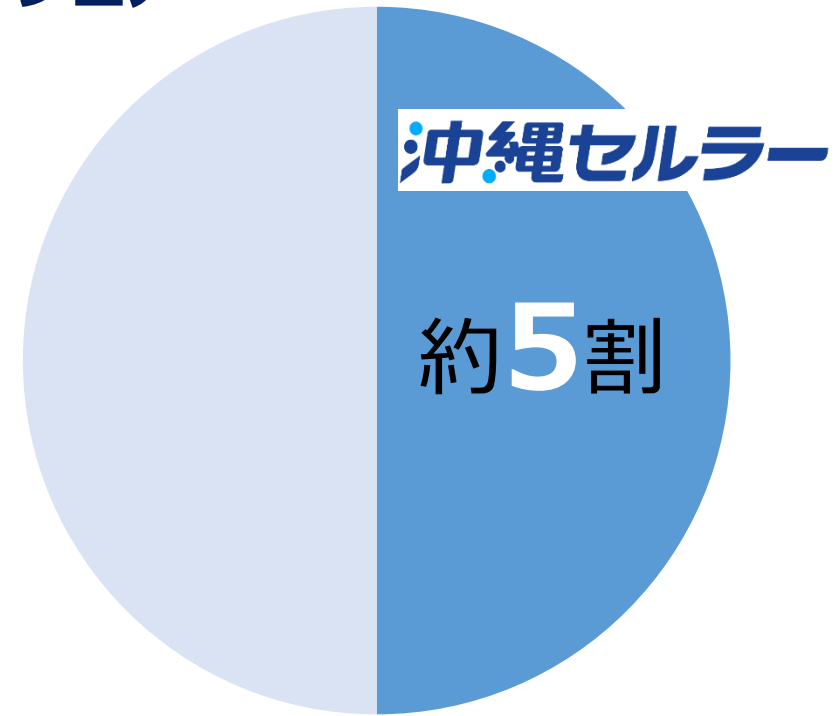
モバイル契約数

契約数は**67**万契約を突破し今期も順調に増加

契約数



シェア



沖縄では**2**人に**1**人が
沖縄セルラー

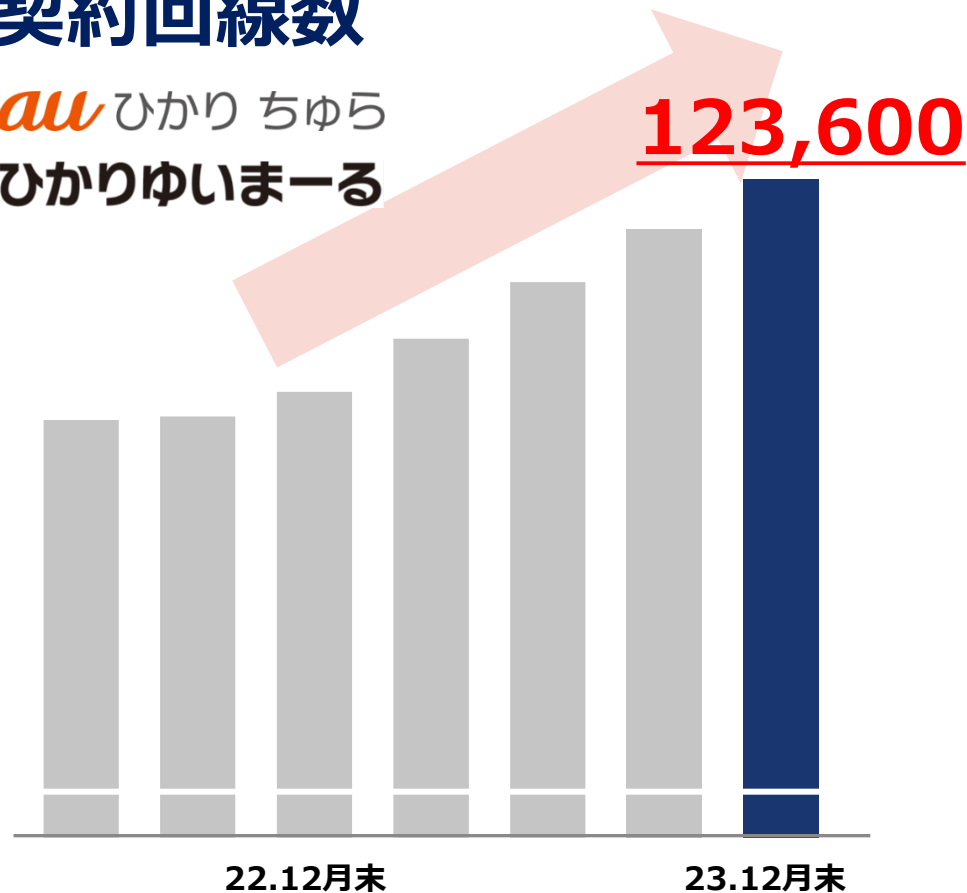
※ハンドセット（スマートフォンとフィーチャーフォンの合計）

FTTH契約回線数

契約回線数は着実に増加しシェアも順調に拡大中

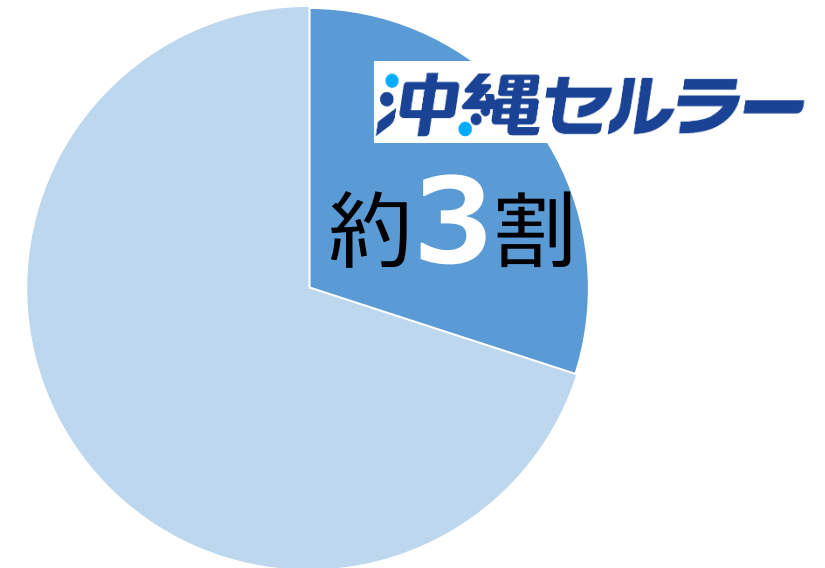
契約回線数

au ひかり ちゅら
ひかりゆいまーる



(補足) FTTH (Fiber To The Home)
= 光ファイバーケーブルを利用して各家庭に提供されている通信サービス

契約回線シェア



光インターネットサービス普及率

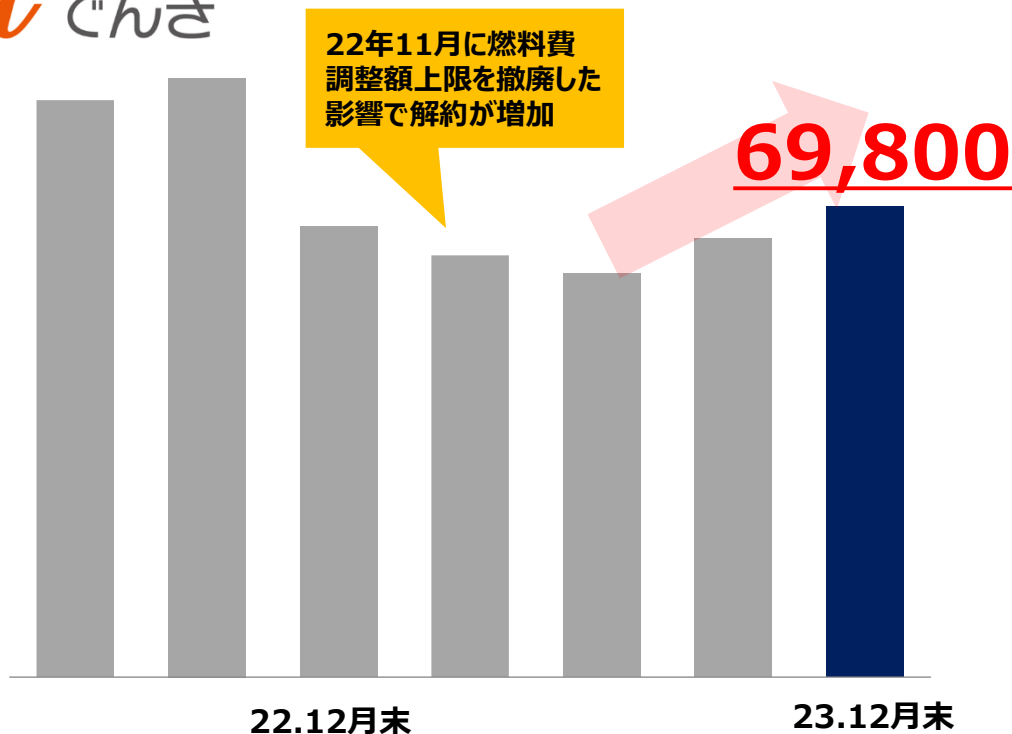
沖繩:57.9% 全国:63.7%

※2023年3月末時点

今期2Qから純増に転じ再拡大フェーズへ
通期予想を超えるペースで獲得し期初予想を大幅上方修正

総契約件数

au でんき



純増件数

期初予想

1,200契約

11,000契約
(+9,800)

事業創造による沖縄の課題解決

デジタルの力で企業の経営課題や沖縄の社会課題の解決へ

ソリューション事業



DX支援・県内企業の課題解決

アグリ



スマート農業/植物工場

ヘルスケア



健康管理アプリ/オンライン診療

サステナビリティへの取り組み

沖縄セルラー初 サステナビリティレポート発行 非財務情報を含む情報開示を充実化



重要課題 (マテリアリティ)

6つの重要課題 (マテリアリティ)

本業を通じてさまざまな社会課題解決に向けて、当社が優先的に取り組むべき課題として6つの重要課題 (マテリアリティ) を特定しています。持続可能な社会の成長に貢献し、中長期的に企業価値を向上させ、沖縄の経済を牽引する企業となれるよう取り組んでいます。

6つの重要課題 (マテリアリティ)					
1	2	3	4	5	6
通信を核としたイノベーションの推進	安心安全で豊かな社会の実現	ガバナンス強化による経営基盤強化	カーボンニュートラルの実現	多様な人材の育成と働きがいのある労働環境の実現	ステークホルダーのエンゲージメント向上

提供価値

① 未来社会の創造 ② 強固なインフラを構築し、経済発展に貢献する ③ 沖縄セルラーグループ全体の経営基盤強化 ④ カーボンニュートラルの実現 ⑤ DX人材育成、エンゲージメント向上、経営経営への取り組み ⑥ ステークホルダーのエンゲージメント向上

サステナビリティ目標KPI設定

マテリアリティ選定プロセス

当社はKDDIグループとして、以下のプロセスでマテリアリティを特定しました。

STEP1 課題の抽出
沖縄の地域特性を踏まえ、KDDIグループとしての経営特性を考慮し、当社の取組むべき課題候補を抽出

STEP2 重要課題の特定
当社が優先して取り組むべき課題として事業活動に関わるさまざまな課題の中から、ステークホルダーの期待や意思決定への影響と「自社が沖縄の社会・国・地域・経済にもインパクトの大きい課題」を抽出し、候補の中から6つのマテリアリティを特定

STEP3 重要課題の検証・決定
サステナビリティ委員会および取締役会で妥当性を審査し、決定

重要課題 (マテリアリティ) とSDGs宣言との整合性

重要課題 (マテリアリティ) × 沖縄セルラーSDGs宣言

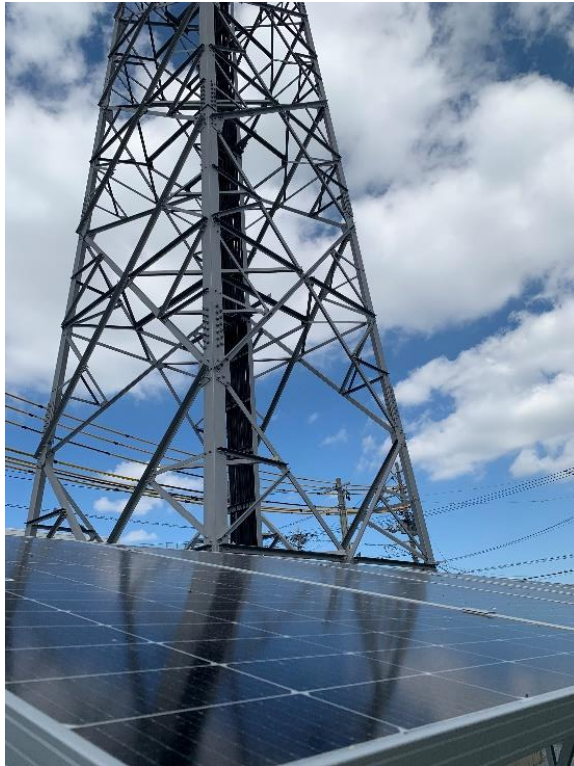
重要課題 (マテリアリティ)	気候変動に関する削減	気候変動に関する適応	水資源の確保	海洋資源の持続可能な利用	陸域生態系の保護	気候変動に関する脆弱性	気候変動に関する適応	気候変動に関する削減
1 通信を核としたイノベーションの推進	●	●	●	●	●	●	●	●
2 安心安全で豊かな社会の実現	●	●	●	●	●	●	●	●
3 ガバナンス強化による経営基盤強化	●	●	●	●	●	●	●	●
4 カーボンニュートラルの実現	●	●	●	●	●	●	●	●
5 多様な人材の育成と働きがいのある労働環境の実現	●	●	●	●	●	●	●	●
6 ステークホルダーのエンゲージメント向上	●	●	●	●	●	●	●	●

幅広いステークホルダーの皆さまに当社への理解を深めていただくことを目的に発行し、当社HPへ掲載。サステナビリティ経営やマテリアリティに対する取り組みを総合的に報告。(2023年12月発行)



カーボンニュートラル実現への取り組み

太陽光発電を活用したサステナブル基地局の運用を開始



24時間365日 CO2排出量実質ゼロへ

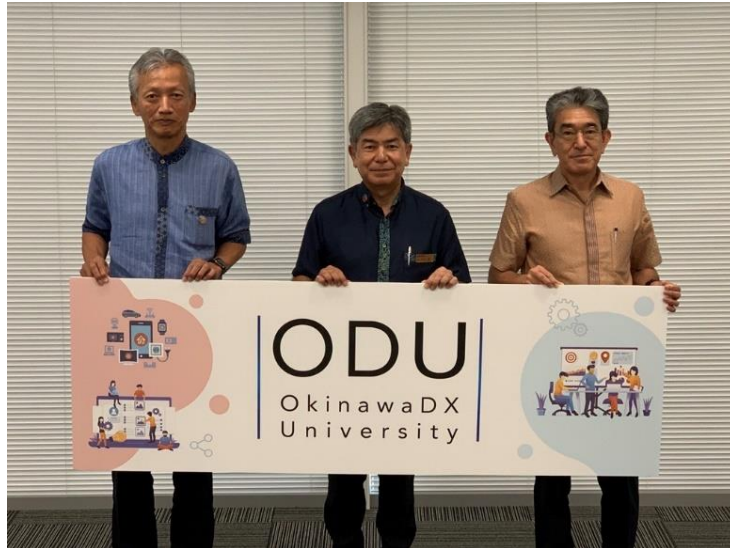


沖縄セルラーでは「2030年度までに自社のCO2排出を実質ゼロ」とするクリーンエネルギーロードマップを策定。今後もサステナブル基地局を拡大し、CO2排出実質ゼロを目指す。

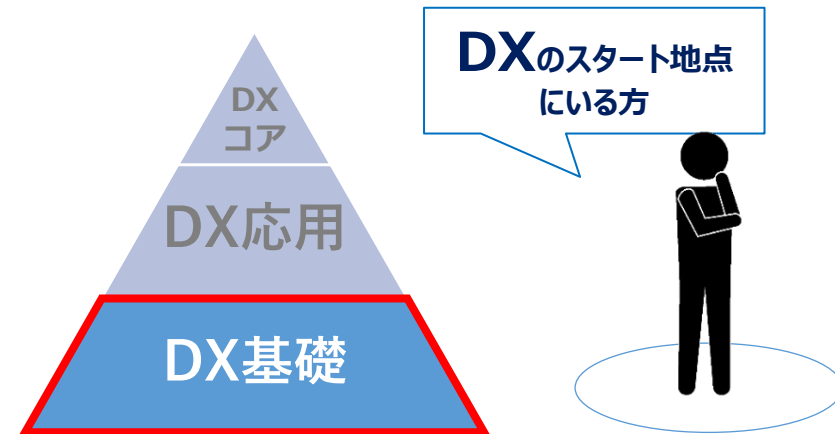
沖縄県のDXを推進

「Okinawa DX University」を創設 DX人材を育成し県経済の発展に貢献

■ 記者会見



■ 実施内容



100名に無料提供
(対象は企業及び自治体)

沖縄未来創造協議会※の協力を得て沖縄県民にオープンプログラムとして提供。
労働生産性が全国最下位である沖縄県の生産性向上を図る。

※沖縄未来創造協議会：沖縄電力(株)、(株)リウボウホールディングス、(株)琉球銀行、(株)沖縄銀行、(株)沖縄海邦銀行、(株)みずほ銀行
当社の7社で構成。事業法人の企画立案力と金融機関の事業構築力を掛け合わせ、県経済の発展に向け政策を提言

沖縄県の子ども達への支援

沖縄の未来を担う子ども達を地元の通信会社として支援

■ 離島ケータイ奨学金



進学のため島を離れる学生に
携帯電話サービスを3年間無償提供。
(2015年度より開始。延べ370名)

■ 子ども基金



子供の貧困問題解消に向け支援団体に
寄付を実施。
(2016年度に子ども基金を設立)

経営方針

増収・増益・連続増配

経営
目標

3増(サンゾウ)

+

配当
性向

40%超

修正業績予想

足元の業績は好調に進捗しており
営業収益・営業利益ともに上方修正

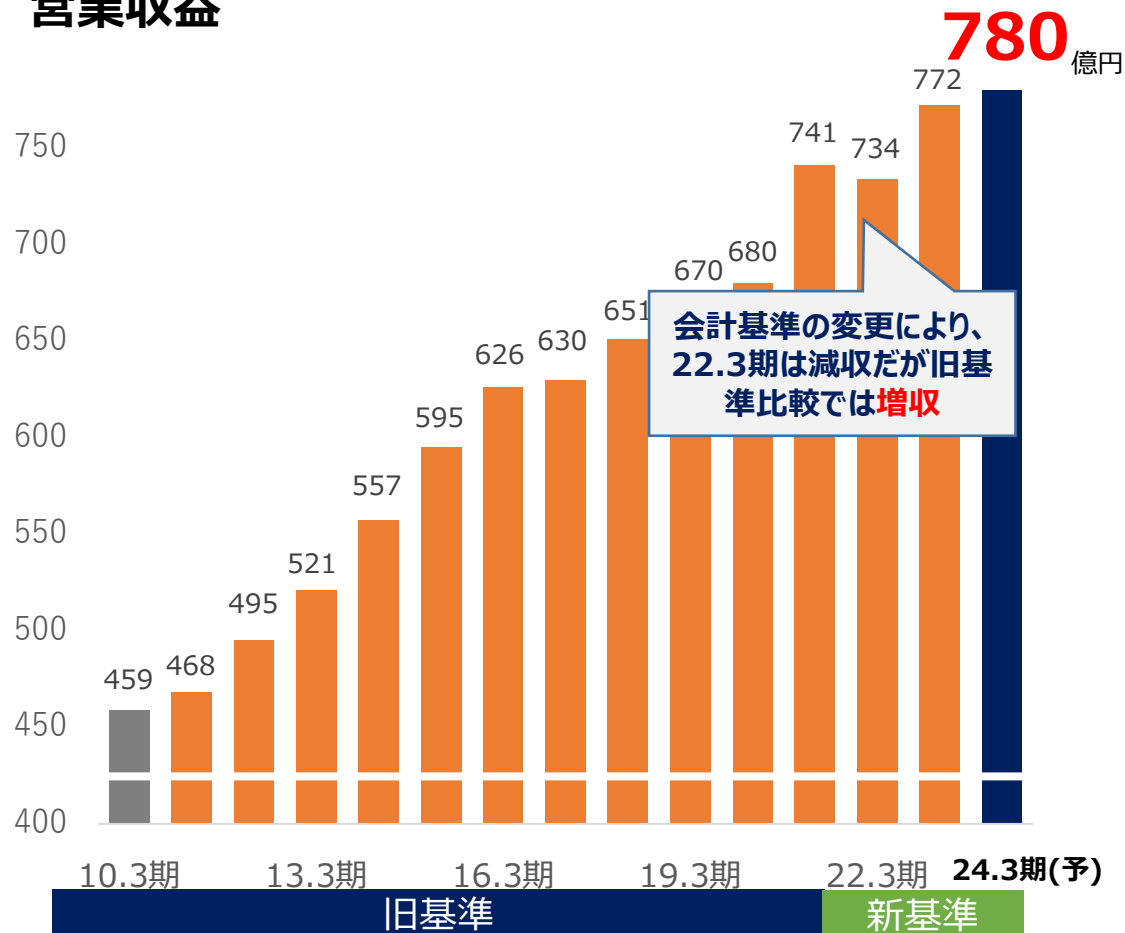
[百万円]	業績予想 通期	修正業績予想 通期	増減
営業収益	76,200	78,000	+1,800
営業利益	16,300	16,800	+500
当期純利益*	11,500	12,000	+500

*親会社株主に帰属する当期純利益

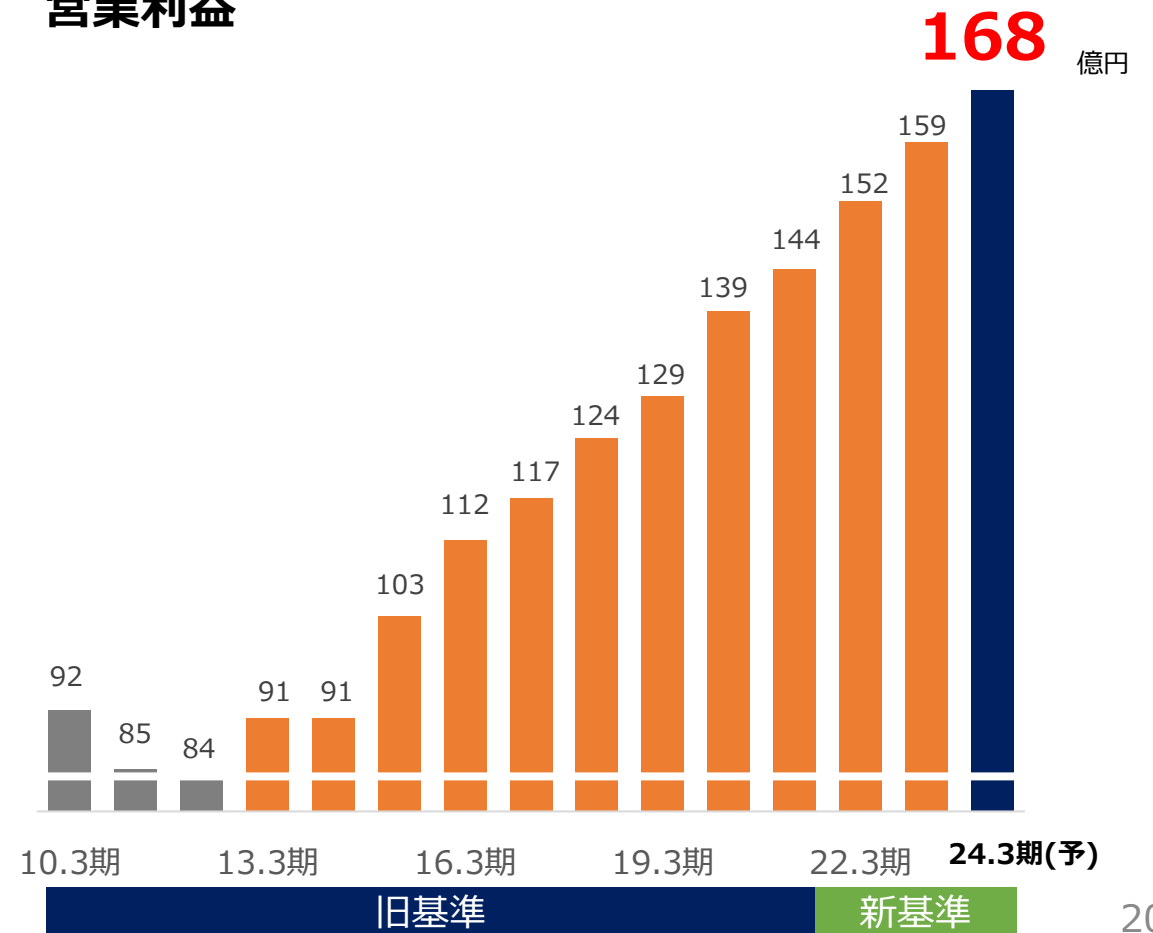
業績推移

12期連続の増益を予定

営業収益



営業利益



配当金

通期配当予想を90円から100円に上方修正
株主還元強化、配当性向40%超をコミットメント

	期初 予想	修正 予想	増 減
中間配当	45円	50円	+5円
期末配当	45円	50円	+5円
通 期	90円	100円	+10円

配当性向※

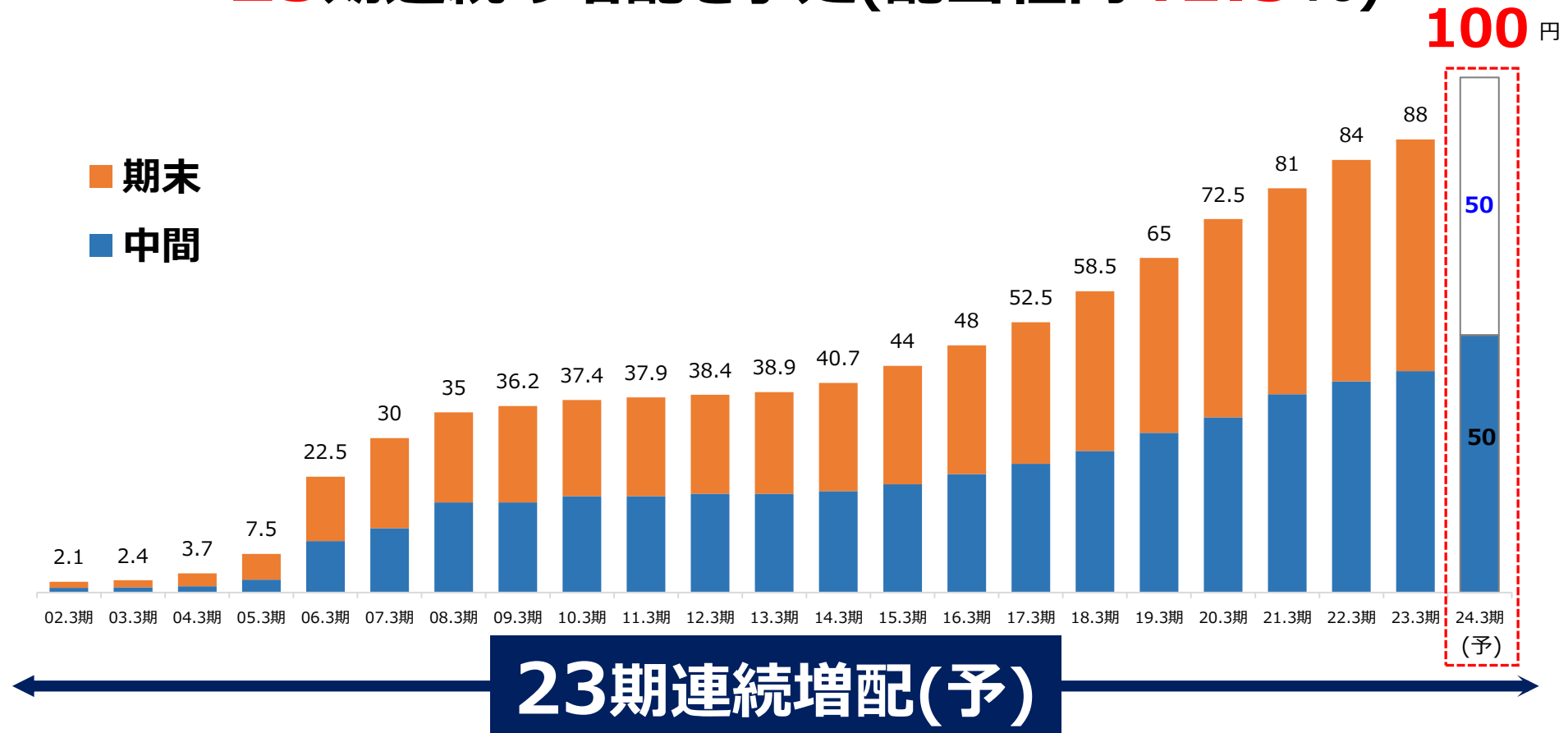
41.3%

※修正後配当金100円を
3Q公表の1株当たりの当期純利益242.15円で割った数値

一株あたりの配当金の状況

24.3期は通期配当予想100円

23期連続の増配を予定(配当性向41.3%)



※ 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施しております。

※ 2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

※ 2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

※ 1株当たりの配当金は23年3月期の中間配当金を100として、これまでに実施した株式分割等に伴う希薄化を調整して表示しております。

※ 配当性向については、通期配当金100円を24.3期第3四半期決算公表の1株当たりの当期純利益242.15円で割った数値で算出しております。



1

沖縄セルラーとは

2

中期経営計画 (22年度-24年度)

3

株主還元

事業戦略

通信を核とした両利きの経営

既存事業の深化

深化を支える
5Gネットワーク戦略

5G戦略とマルチブランド推進による
収益最大化

成長領域の拡大

エネルギー事業の推進

ソリューション事業の推進

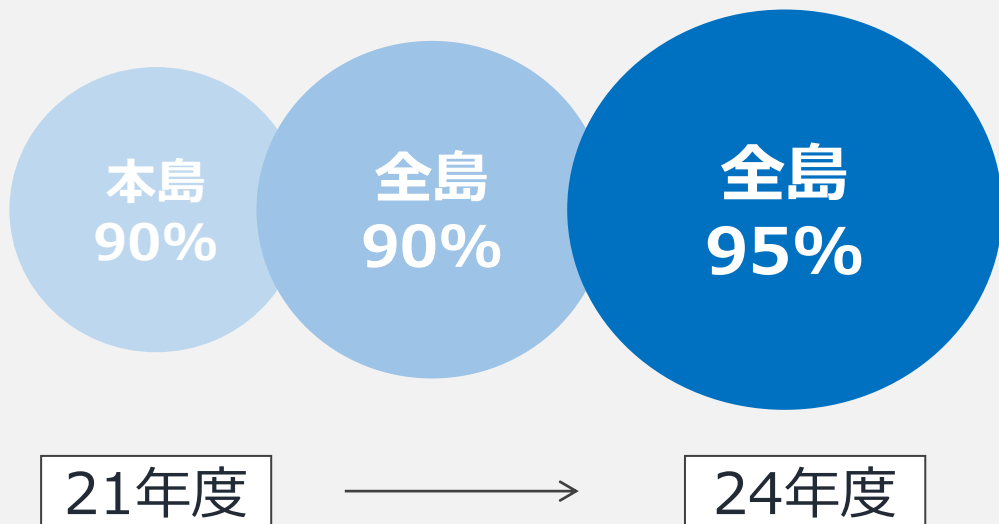
事業創造による
沖縄の社会課題解決

深化を支える5Gネットワーク戦略

■ 中期経営計画

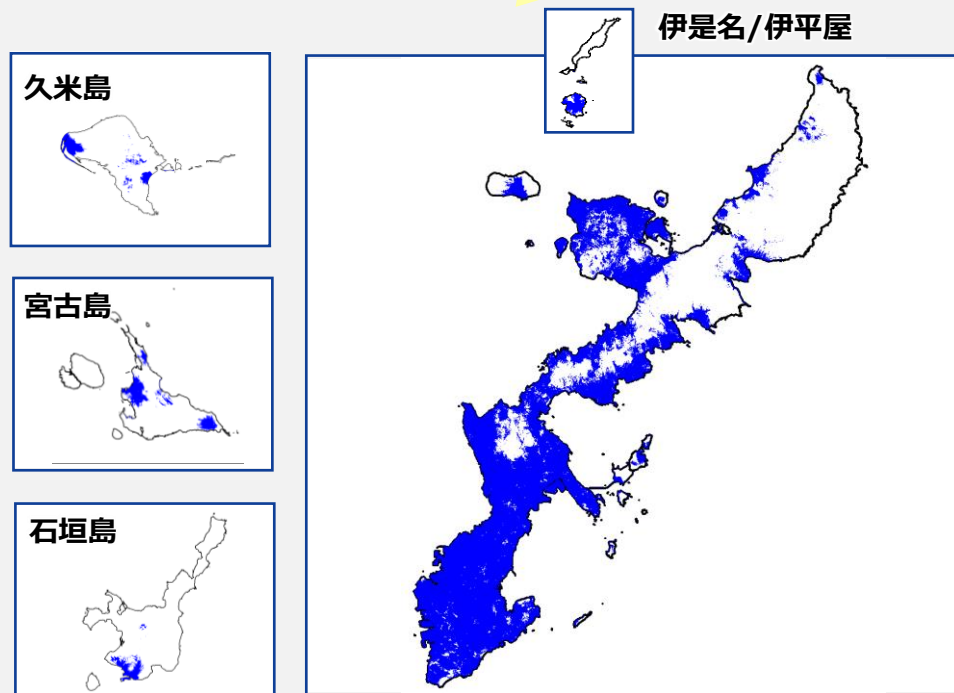
24年度に人口カバー率95%以上

沖縄県内の5Gエリア拡大
デジタル田園都市国家構想に寄与



■ 足元の状況

2023年9月
計画**1年半前倒し**で
目標達成



離島含めた全島人口カバー率 **95%**

深化を支える5Gネットワーク戦略

■ 中期経営計画

離島海底ケーブル敷設
ネットワーク強化と沖縄全域での
5G拡大を実現



■ 足元の状況

2023年7月
離島海底ケーブル
運用開始



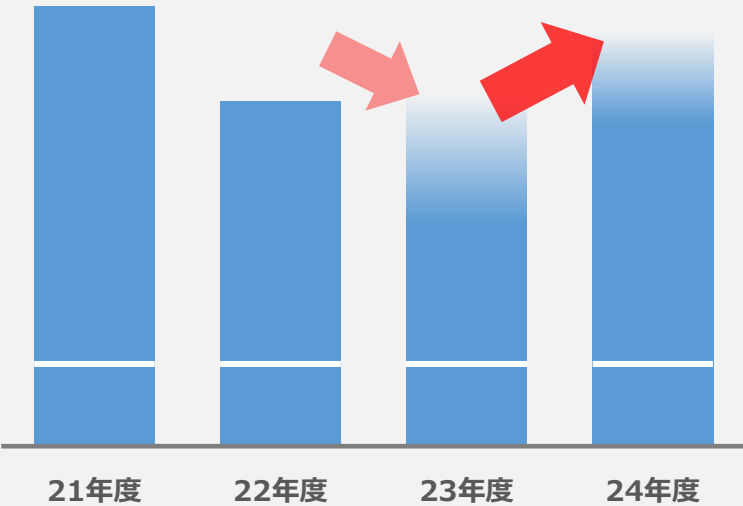
※沖縄セルラー電話株式会社、西日本電信電話株式会社
ソフトバンク株式会社との共同事業

収益最大化

■ 中期経営計画

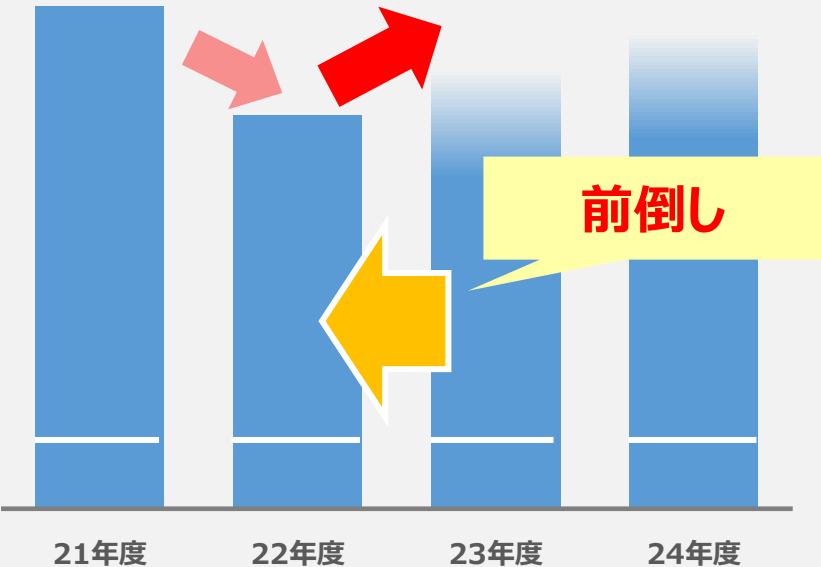
マルチブランド通信ARPU収入
23年度底打ち反転

マルチブランド通信
ARPU収入



■ 足元の状況

1年度前倒しで
22年度底打ち反転へ

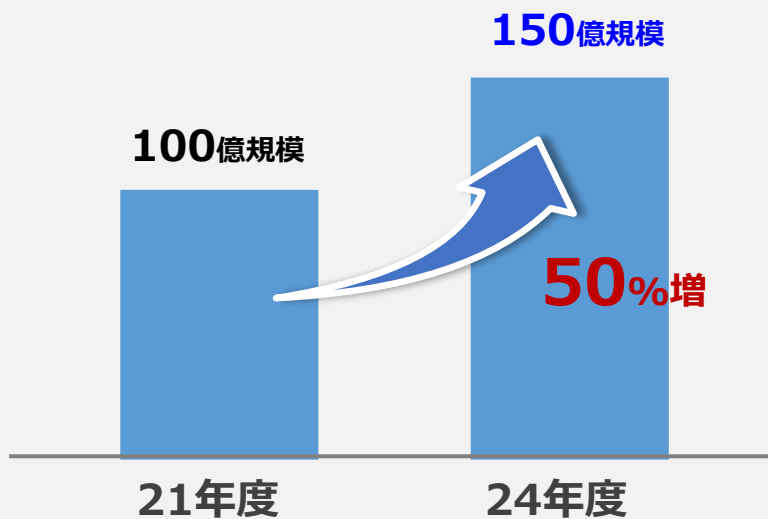


(補足) ARPU (Average Revenue Per User) = 一人当たりの平均利用額

成長領域の拡大

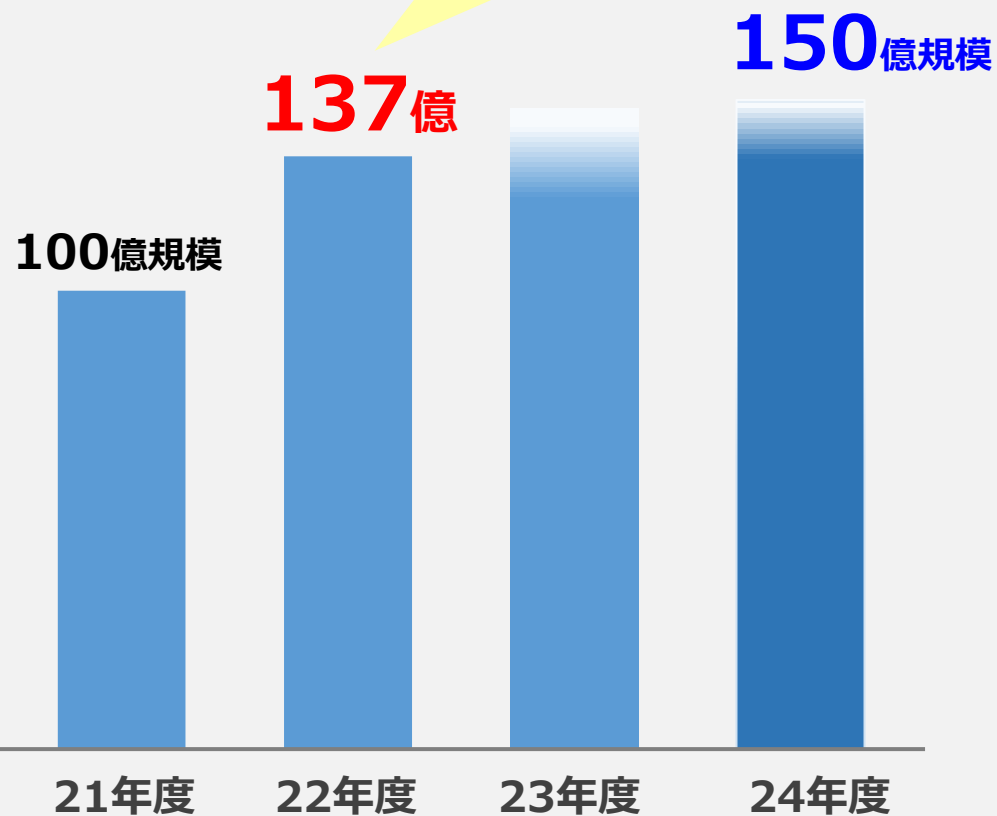
■ 中期経営計画

成長領域の売上
150億円規模を目指す



■ 足元の状況

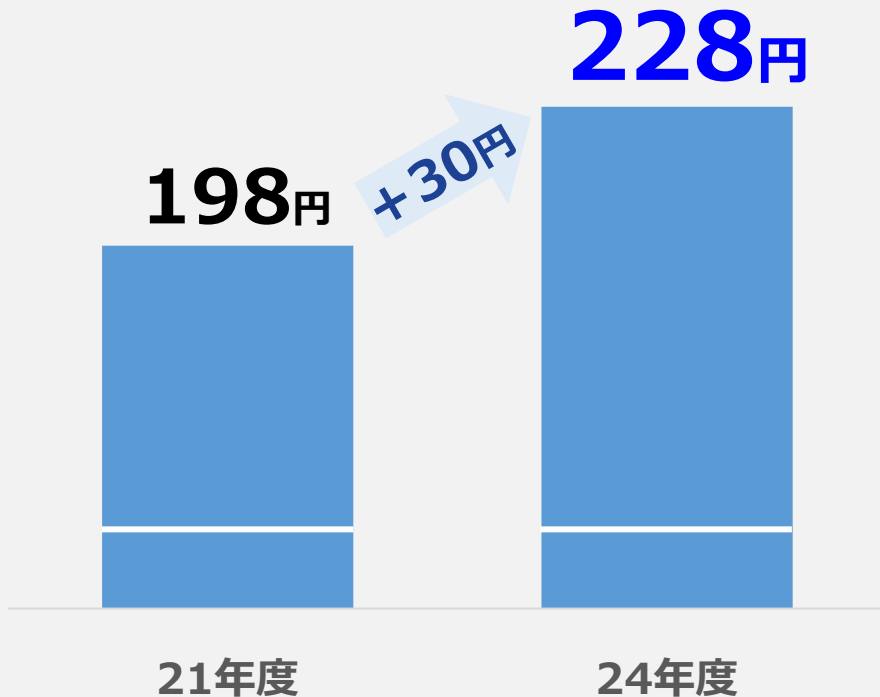
計画に対し 順調に拡大



財務目標

■ 中期経営計画

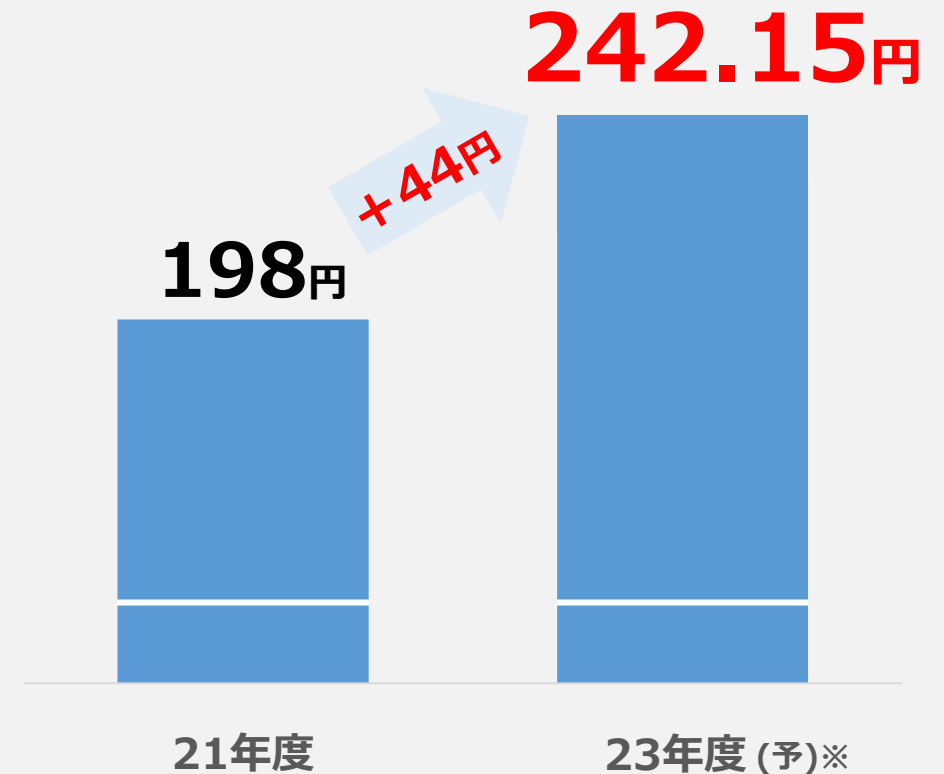
24年度EPS228円
(21年度比+15%) を目指す



(補足) EPS (Earning Per Share) = 1株あたりの純利益

■ 足元の状況

前倒しで目標達成



※23年12月末時点での見込み

キャピタルアロケーション

5G構築等の設備投資・成長に向けた戦略投資を着実に実行

営業キャッシュフロー(22年度～24年度累計500億規模)

CF創出

5Gなど設備投資

22年度-24年度累計

200億規模

CF創出

成長に向けた
戦略投資

増配、機動的な自己株式取得実施による株主還元



1

沖縄セルラーとは

2

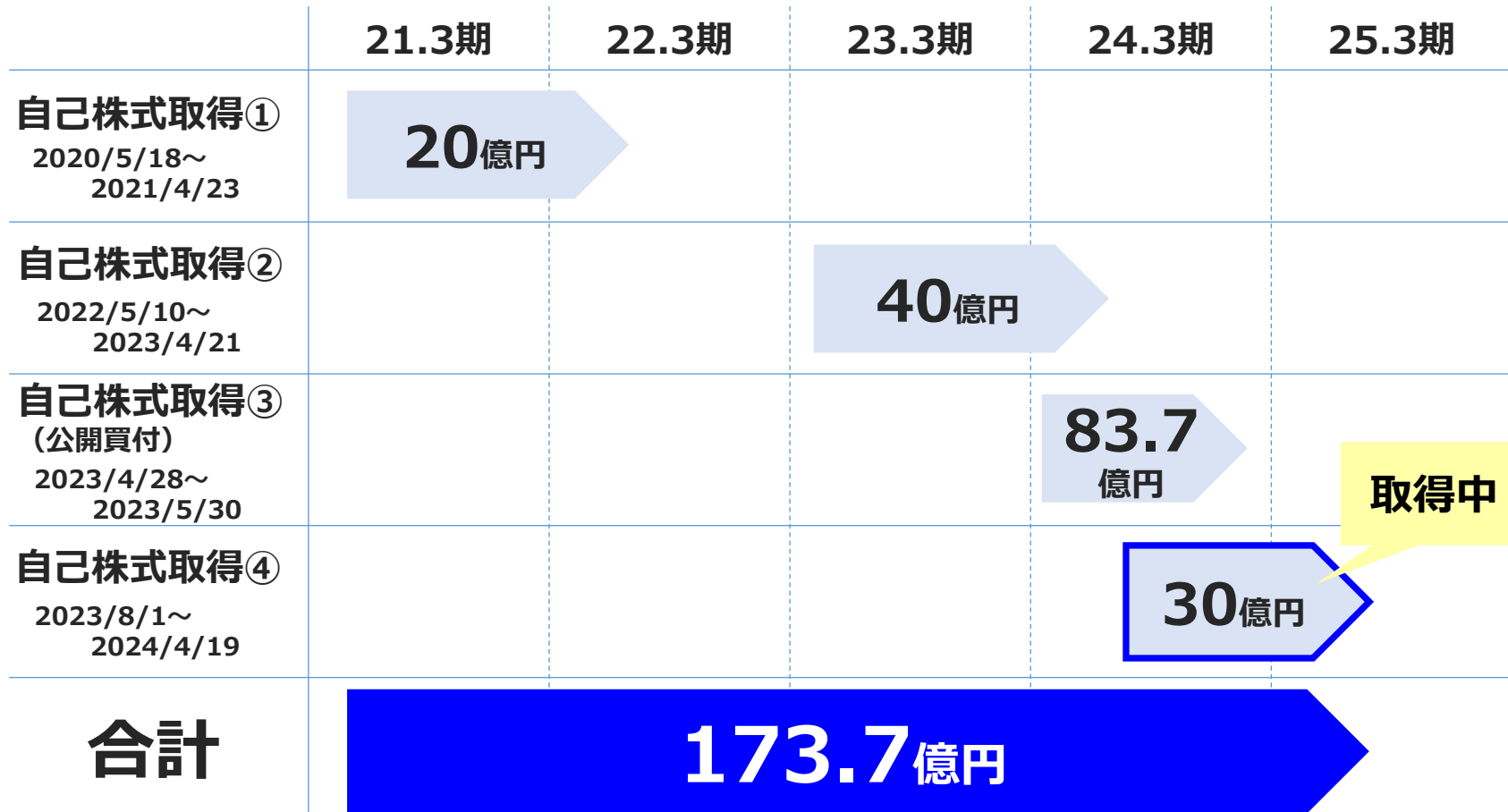
中期経営計画 (22年度-24年度)

3

株主還元

自己株式取得

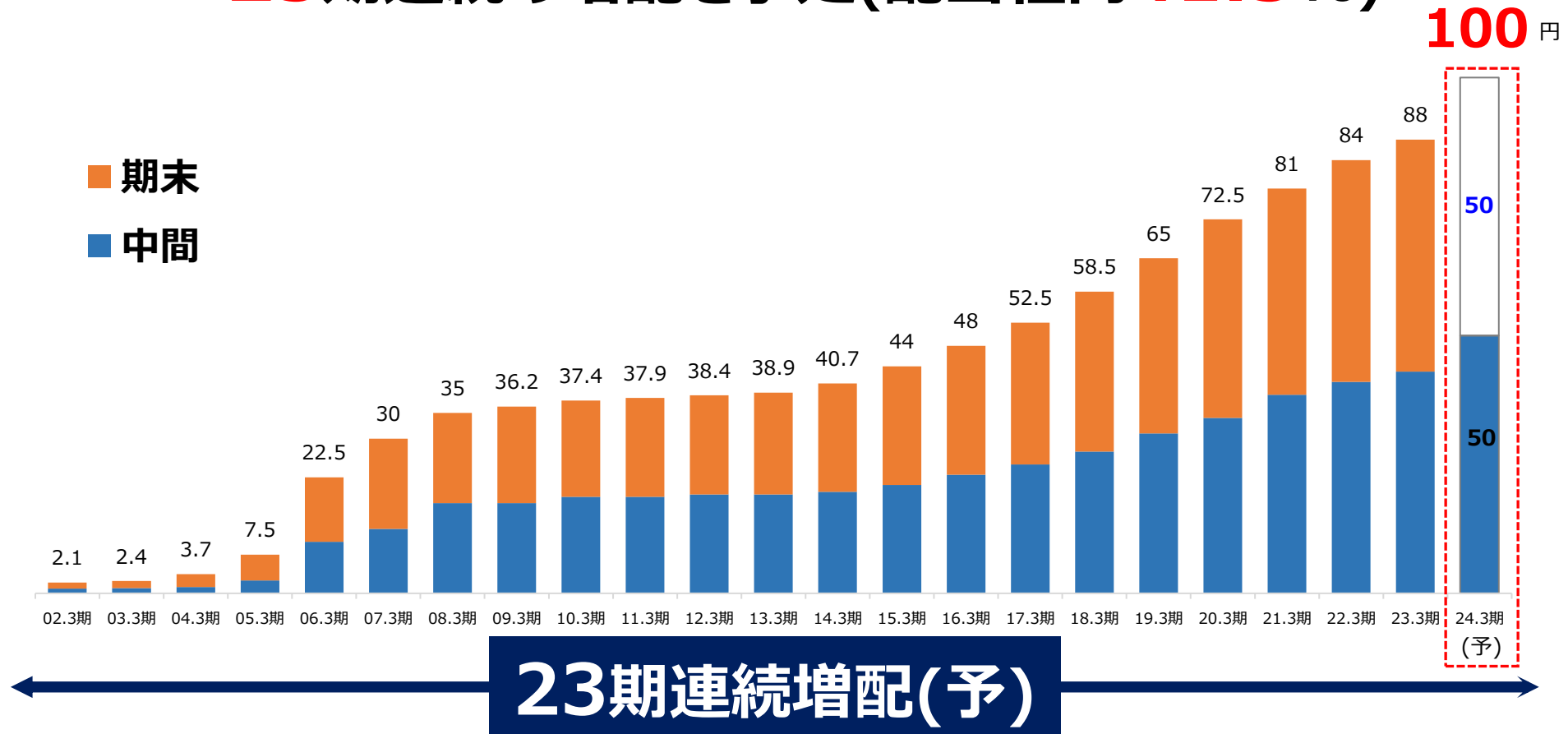
■ 自己株式取得の実施状況



一株あたりの配当金の状況

24.3期は通期配当予想100円

23期連続の増配を予定(配当性向41.3%)



※ 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施しております。

※ 2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

※ 2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

※ 1株当たりの配当金は23年3月期の中間配当金を100として、これまでに実施した株式分割等に伴う希薄化を調整して表示しております。

※ 配当性向については、通期配当金100円を24.3期第3四半期決算公表の1株当たりの当期純利益242.15円で割った数値で算出しております。

株主優待

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに
当社の事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として実施

基準月

3月

贈呈時期

2024年6月

株主優待の
内容

株主さまの「保有株式数」と
「保有期間」に応じて
「株主優待カタログギフト」を贈呈

■ 保有株式数：100～999株

保有期間：5年未満	保有期間：5年以上
3,000円相当	5,000円相当

■ 保有株式数：1,000株以上

保有期間：5年未満	保有期間：5年以上
5,000円相当	10,000円相当



フルーツマルシェ
～美ら島ベリー & 完熟パイナップル～



あぐー食べ比べしゃぶしゃぶセット

※2023年実績

まとめ

✓健全な財務 契約数も好調

- └ 自己資本比率：82.6%
- └ シェア：モバイル約5割 FTTH約3割

✓中期経営計画は前倒しで進捗

- └ 通信ARPU収入：23年度底打反転目標を1期前倒しで進行中
- └ EPS成長：21年度比+15%を前倒しで目標達成

✓増配・機動的な自己株式取得による株主還元

- └ 増収・増益・連続増配、配当性向40%超を目指す
- └ 機動的な自己株式取得

IRニュースメールのご案内

当会社情報サイトの更新、決算・そのほか重要事項のリリースなどについて、Eメールにてタイムリーにお知らせしております。
宜しければ、是非ご登録ください。



左記QRコードの読み取り、もしくは、「沖縄セルラー IRニュースメール」と検索し、ご確認ください。





Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

お問い合わせ先
沖縄セルラー電話株式会社
サステナビリティ経営推進部
サステナビリティ経営推進グループ

T E L : 098-951-0639
E-mail : oct-ir@au-mobile.com

●この配布資料に記載されている業績予想及び契約数予想等はいずれも、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

●本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。